

# 〔海況概要〕 (平成30年5月3日～5月9日)

今週の本県近海の表面水温は、16～20℃台を示し、平年並みの水温でした。

# 〔漁況概要〕 (平成30年5月3日～5月9日)

○中小型まき網――月夜間とシケで出漁日数が少なかった。西彼地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週の40%（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジが1日1統当たり20トンの水揚げで、前週の5倍（前年を上回った）。北松南部地区では、カタクチイワシが1日1統当たり18トンの水揚げで、前週の3倍（前年を上回った）。

○イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり13kgの水揚げで、前週の28%（前年を上回った）。壱岐勝本地区では1日当たり128kgの水揚げで、前週の10%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり30kgの水揚げで、前週の2.1倍（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり90kgの水揚げで、前週の15%（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり13kgの水揚げで、前週の65%（前年を下回った）。

○定置網――五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり383kgの水揚げ。北松生月地区では、マアジなどが1日1統当たり488kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり103kgの水揚げ。

○一本釣――北松宇久地区では、ブリが1日当たり86kgの水揚げで、前週の2.3倍（前年を上回った）。

# 〔日本海スルメイカ情報〕 (漁業情報サービスセンターより)

今期（5/3～5/9）7日間GW連休とまき網船の切揚休漁で漁獲量は低調だった。中小型まき網船は、GW連休と申し合わせ休漁で出漁船なし。境港基地の小型イカ釣船 2日延4隻、総計107箱、1航海最高43箱、平均26.8箱、スルメ（25・30入）107箱。

# 〔海面水温情報〕 MGDSST (人工衛星水温) [気象庁発表] より

平成30年 4月26日～平成30年 5月9日の平均水温

※人工衛星水温から下記定点水温を抜粋。

	水温	前週差	平年差
対馬東	17.3 °C	0.3 °C	-0.1 °C
五島西沖	18.0 °C	0.1 °C	-0.1 °C
五島灘	19.0 °C	-0.1 °C	0.3 °C

